

特別講演会 福田 真人 名古屋大学大学院教授

結核のロマン化と 病気の本质

結核の歴史は人類よりも古い。しかし、18世紀英国の産業革命と共に強く認識されるようになってきた病は、いろいろな名前やイメージを持った。例えば労咳、肺病、胸病など。そして、美人薄命、肺病天才説などの肯定的イメージの反対側には、女工哀史がある。1882年に結核菌がコッホによって発見されるまで、また発見されてからも結核の効果的治療法は長い間なかった。診断法も治療法も、医学の歴史の縮図のような結核の歴史を俯瞰してみたい。



1908年 コッホ博士来名記念写真

2016年12月16日 金

14:00-15:30

入場無料
予約不要

名古屋大学医学部
基礎研究棟
1階 会議室2

問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館
名古屋市昭和区鶴舞町65
TEL 052-744-2505



結核のロマン化と病氣の本質

日時：2016年12月16日(金)14:00-15:30

会場：名古屋大学医学部基礎研究棟 1階 会議室2

結核の歴史は人類よりも古い。しかし、18世紀英国の産業革命と共に強く認識されるようになってきた病は、いろんな名前やイメージを持った。例えば労咳、肺病、胸病など。そして、美人薄命、肺病天才説などの肯定的イメージの反対側には、女工哀史がある。1882年に結核菌がコッホによって発見されるまで、また発見されてからも結核の効果的治療法は長い間なかった。診断法も治療法も、医学の歴史の縮図のような結核の歴史を俯瞰してみたい。



福田 真人 (名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授)

京都市出身

東京大学大学院総合文化研究科修了(比較文学比較文化)

オックスフォード大学ウエルカム医学史研究所客員研究員

ハーバード大学科学史学科客員研究員

デリー大学客員教授などを歴任

現在、国際言語文化研究科長、国際言語センター長、東華大学客員教授(上海)

講演テーマに関連する著作:

著書等 『結核の文化史—近代日本における病のイメージ』(名古屋大学出版会 1995、毎日出版文化賞)、『結核という文化』(中央公論社 2001)、『日本梅毒史の研究』(思文閣出版 2005)、『北里柴三郎』(ミネルヴァ書房 2008)、『コレクション・モダン都市文化 病院と病氣』(ゆまに書房 2009)、
共著 “Health transitions and the double disease burden in Asia and the Pacific : histories of responses to non-communicable and communicable diseases” (Routledge 2013)

学術論文「北里柴三郎:内務省衛生局時代とドイツ留学への道」(言語文化論集 XXVIII巻 2号 2007)、
「軽井沢と結核」(水声通信 7号 2006)

ほか多数

ミニ企画展

看護の力

— 医学部史料室所蔵資料に見る看護のあゆみ —

開催期間：2016年10月20日(木)～2017年1月31日(火)

平日 9:00-20:00 1月5日-6日は9:00-17:00

土 13:00-17:00

休館日：日・祝日、12月28-31日、1月1日-4日、7日

名古屋大学附属図書館**医学部分館** 2階入口ホール

問合せ先：名古屋大学附属図書館**医学部分館**

名古屋市昭和区鶴舞町65

TEL 052-744-2505